

平成30年度 事業計画

《公益事業》

1. 優秀な建築技術者を選別し、県民が確認、選択する機会を提供する事業（公1）

(1)建築士試験の実施(優秀な建築技術者の選別)

【実務内容】

建築士試験の実施

- ①受験申込書の配布
- ②受験申込書の受付
- ③受験資格審査(書類審査等)
- ④試験の会場の手配
- ⑤試験の準備
- ⑥試験監督
- ⑦試験の実施
- ⑧合格の発表(ホームページに掲載)

(2)一級建築士登録及び建築士名簿の閲覧

県民に建築士の情報を与えることを目的として、県内の登録申請者及び閲覧申請者への利便性や円滑な実施を図るため、県内の一級建築士登録窓口の設置及び無料で名簿の閲覧を行う。

【実務内容】

- ①一級建築士免許申請の広報及び準備
登録等事務に係わる広報物、申請者用手引き、登録申請諸用紙の配布、配信
申請者からの問い合わせ対応
- ②一級建築士免許登録申請の受付
申請書類の受付及び本人確認等窓口審査
申請書類の審査及び決裁、受付名簿の作成
申請書類の日本建築士連合会への送付(月2回)
- ③一級建築士免許証明書の交付
免許通知はがきの申請者本人への発送
免許証明書の本人への交付

【閲覧方法】

建築行政情報センター(ICBA)のデータベースにアクセスする専用端末を利用する。

(3)二級・木造建築士登録及び建築士名簿の閲覧

県民に建築士の情報を与えることを目的として、県内の登録申請者及び閲覧申請者への利便性や円滑な実施を図るため、県内の二級・木造建築士登録窓口の設置及び無料で名簿の閲覧を行う。

【実務内容】

- ①二級・木造建築士免許申請の広報及び準備
登録等事務に係わる広報物、申請者用手引き、登録申請諸用紙の配布、配信
申請者からの問い合わせ対応
- ②二級・木造建築士免許登録申請の受付
申請書類の受付及び本人確認等窓口審査
申請書類の審査及び決裁、受付名簿の作成
免許証明書(カード)作成資料の日本建築士連合会への送付(月1回)
- ③二級・木造建築士名簿の作成、修正及び閲覧に供する業務
- ④二級・木造建築士免許証明書の交付
免許通知はがきの申請者本人への発送、免許証明書の本人への交付

【閲覧方法】

建築行政情報センター(ICBA)のデータベースにアクセスする専用端末を利用する。

(4)専攻建築士制度業務

専攻建築士制度は、八つの専門分野について、建築士の申請により、一定の知識及び技術を持つ者のみを認定し、認定された建築士を建築士会のホームページにて県民向けに広く公開する。

【実務内容】

①専攻建築士制度の普及、宣伝

5年以上の実務経歴のある建築士に、県民に必要とする分野の建築士の選択を可能となるこの制度を知ってもらうため、ホームページ等で登録者を募集する。

②専攻建築士登録申請書の審査

(公社)日本建築士会連合会が定めた、専攻建築士審査基準に基づき、申請者が当該専門分野の一定の知識があるか否か、申請書類を確認し、日本建築士会連合会の認定評議会に諮る。

③専攻建築士の登録

日本建築士会連合会で認定された専攻建築士の情報を専攻建築士検索システムに登録し、登録された建築士に登録証、カード、バッジを交付する。

④専攻建築士の情報公開

県民に対し、専攻建築士の情報を専攻建築士検索システム(登録簿)で公開する。

(5)建築士継続能力開発(CPD)制度業務

継続能力開発に努めている建築士の実績を確認し、その情報を県民に提供できる方法として、建築士継続能力開発制度(CPD)を運営する。

【実務内容】

①CPD制度の普及、宣伝

②CPD制度に参加する建築士の登録

③CPD単位が取得できる研修等の認定

④CPD制度に参加している建築士のCPD取得単位データの登録

⑤データ登録内容の証明

⑥CPD制度に登録された建築士の情報公開

2. 建築技術に関する研修講習会等を実施する事業(公2)

(1)一級・二級・木造建築士定期講習の実務

建築士事務所に所属する一級・二級・木造建築士が3年毎に受講が義務づけられている建築士定期講習を実施する。

【実務内容】

①講習会企画

②会場の確保

③講師依頼

④受講者の募集(チラシ、ホームページに掲載)

⑤申込受付

⑥講習会の開催

⑦修了考査の監督

(2)構造設計、設備設計一級建築士定期講習の実施

構造設計一級建築士、設備設計一級建築士が3年毎に受講が義務づけられている定期講習を実施する。

【実務内容】

①講習会企画

②会場の確保

③講師依頼

- ④受講者の募集(チラシ、ホームページ等で募る)
- ⑤申込受付
- ⑥講習会の開催
- ⑦修了考査の監督

(3)建築セミナー、技術者育成事業

県外の著名な建築家を招いて講演会(セミナー)を開催するとともに、沖縄県の建築行政・住宅行政についての講習を行うことにより、建築士や建築を学ぶ学生等の知識及び技能の維持向上に貢献する。

【実務内容】

- ①セミナー企画
- ②会場の確保
- ③講師依頼
- ④受講者の募集(チラシ、ホームページ等で募る)
- ⑤申込受付
- ⑥セミナー、講演会の開催
- ⑦報告書の作成(技術者育成事業)

(4)地震被災建築物の応急危険度判定体制整備業務

地震被災建築物の応急危険度判定を行う建築技術者(応急危険度判定士)を養成することを目的として、建築士法第22条2項の規定に基づき、講習会や判定士による応急危険度判定模擬訓練を実施する。

【実務内容】

- ①講習会・模擬訓練の企画
- ②会場の確保
- ③講師依頼
- ④受講者の募集(チラシ、ホームページ等で募る)
- ⑤申込受付
- ⑥講習会・模擬訓練の開催
- ⑦報告書の作成

(5)国際交流事業

建築士相互の理解及び友好増進、相互技術の交流と情報資料の交換を目的に韓国済州道建築士会との交流事業を行う。必要に応じて相互訪問し、沖縄建築賞や済州建築文化展入賞作品のプレゼンテーションを行い、建築技術の向上を図る。

(6)住宅省エネルギー技術講習会の実施

【事業内容】

沖縄県における省エネルギー住宅の設計及び施工等建築技術者の技能の向上を目的とした、講習会を実施する。

【実務内容】

- ①講習会の企画
- ②会場の確保
- ③講師依頼
- ④受講者の募集(チラシ、ホームページ等で募る)
- ⑤申込受付
- ⑥講習会の開催
- ⑦報告書の作成

(7)既存住宅状況調査技術者講習の実施

【事業内容】

改正宅建物取引業法(平成30年4月施行)に係る既存住宅状況調査技術者を養成するための講習会を実施する。

【実務内容】

- ①講習会の企画
- ②会場の確保
- ③講師依頼
- ④受講者の募集(チラシ、ホームページ等で募る)
- ⑤申込受付
- ⑥講習会の開催

(8)建築設計競技

【事業内容】

建築設計技術者の技術の向上を目的とした建築設計競技(沖縄建築賞・沖縄県アンダー40 設計競技等)の実施または、実施支援を行う。

(9)ヘリテージマネージャー養成講習会の実施

【事業内容】

循環型社会における建築のあり方を見据え、地域に眠る歴史的建造物の保全・活用を推進することにより、地域固有の風景を回復しつつ誇りのもてる地域づくりに貢献することを目的として、ヘリテージマネージャー(歴史的建造物の保全活用に係る専門家)の育成・活用に取り組む。

【実務内容】

- ①講習会の企画
- ②会場の確保
- ③講師依頼
- ④受講者の募集(チラシ、ホームページ等で募る)
- ⑤申込受付
- ⑥講習会の開催
- ⑦修了者登録

(10)住宅の省エネルギー性能等の調査事業

【事業内容】

国土交通省が、公益社団法人日本建築士会連合会等との協議のもとで選定した那覇市における計 280 件程度のアンケート調査を行い、より精度の高い住宅の省エネ基準への適合状況を把握することを目的とする。

【実務内容】

- ①調査票の回収
- ②回収した調査票の整理、連合会へ送付
- ③必要に応じてヒアリングの実施
- ④調査員交通費・謝金等の支払

3. 地域貢献活動事業(公3)

(1)地域貢献活動

【事業内容】

建築士会の本部及び各支部における「建築士の日」建築無料相談会やチャリティーコンサート、小学生を対象とした折紙建築教室、構造クラフト教室や工業高校、専門学校の建築系学科生徒に対する進路講話等地域実践・貢献活動を行う。

全国の建築士会会員が集い地域貢献活動やまちづくり、建築防災等について研修する「全国大会」や九州・沖縄の地域実践活動の発表の場である「九州ブロック建築士研究集会」等に参加する。

(2)地域貢献活動を支援する事業

【事業内容】

地域で社会貢献活動を実施している団体等の中に建築士が参画し、建築士としてその職能を生かした事

業がなされている事業に財政的支援を行う。

《収益事業》

4. 建築書籍等の販売事業(収1)

(1)建築書籍等の販売事業

建築士の業務、建築技術等に関し、建築士の社会的責任を果たすために必要な書籍等の販売を行う。

5. 沖縄建築会館管理運営事業(収2)

(1)沖縄建築会館の賃貸事務所、貸会議室の運営

《共益・その他事業》

6. 会員の福利、相互理解と親善を増進する事業(他1)

(1)会員相互の福利厚生増進に関する事業(ゴルフ大会、ボウリング大会、ビーチパーティ等の開催)

(2)会員情報誌の発行(月刊「建築士」、沖縄建築等)